

# 個別施設計画（文化施設）

平成 31 年 3 月  
令和 3 年 3 月改正  
令和 5 年 3 月改正  
山梨県

## 目次

1	目的・位置付け	1
2	施設の状況・課題	1
3	今後の施設管理の方針	4
4	長寿命化に関する方針	5
5	長寿命化実施計画	7
6	長寿命化対策の実施効果	7
7	ユニバーサルデザイン化実施計画	7
<別紙>	長寿命化実施計画（詳細）	8
<別表>	施設の建築物等所有状況一覧	10

## 1 目的・位置付け

### (1) 目的

県が管理・所有する公共施設について、将来的な活用を見据えた総合的かつ計画的な管理を推進するため「個別施設計画」を策定し、利用者の安全の確保とともに、長寿命化型の管理を行うことにより、ライフサイクルコストの削減、財政負担の平準化、及び施設の長寿命化を通じた県民サービスの向上を図ることを目的とする。

### (2) 位置付け

本計画は、「山梨県公共施設等総合管理計画」に基づく施設類型ごとの個別施設計画(国の「インフラ長寿命化基本計画」に規定する「個別施設ごとの長寿命化計画」)である。

### (3) 対象施設

大分類	中分類	小分類	施設番号、施設名称		所管部局
I 県民利用 施設	1 文化・社会 教育系施設	① 文化施設	1	県民文化ホール	観光文化部
			2	富士山世界遺産センター	

※分類は「山梨県公共施設等総合管理計画」における施設類型

### (4) 計画期間

平成30年度から令和9年度までの10年間とする。

ただし、計画期間の中間年を目途に、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととする。

## 2 施設の状況・課題

### (1) 施設における建築物の所有状況

No.	施設名	本館・ 展示棟	駐輪場	車庫・ 倉庫等	ゴミ置場	合計
1	県民文化ホール	1	1	2	1	5
2	富士山世界遺産センター	2		1		3

※詳細データは<別表>のとおり

### (2) 施設の状況（老朽化状況）

#### 1) 県民文化ホール

県民文化ホールは、築年数39年の建築物であり、経年劣化は見られるものの必要最低限の安全性は確保されている。

施設は、建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、平成24年

度には耐震診断を実施し所要の耐震性能を有しているとの所見を得ている。屋上防水、空調設備、電気設備等については、不具合が生じていることから、更新工事を実施することとしている。その他衛生設備や消防設備等についても、円滑なホール運営に欠かすことのできないものであり、設備の故障はホールの休止に直結することから、今後、計画的に改修や更新等を行っていく必要がある。

## 2) 富士山世界遺産センター

富士山世界遺産センターは、新耐震基準により設計・施工された建築物である。築年数は、南館が7年（平成27年12月新設）、北館が24年（平成10年6月改築）であり、北館には経年劣化が見られるものの必要最低限の安全性は確保されている。

各施設とも建築基準法及び消防法等に基づく法定点検を実施するとともに、北館は改築から24年が経過しており、建築部位・設備の劣化状況に応じ、これまで雨樋や外壁、空調設備の修繕、屋根の防水改修、外部建具の再塗装などを実施してきている。

経年劣化による故障や不具合が毎年発生しており、今後、計画的に部品交換や改修等を検討する必要がある。

## (3) 施設の運営・利用状況

### 1) 県民文化ホール

県民文化ホールは、芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与する事を目的に、昭和57年に設立して以来、これまで、質の高い文化芸術に触れる機会の提供や、創造性及び企画性の高い公演等を実施するなど、本県の地域の文化芸術振興の拠点として、大きな役割を担ってきている。

文化芸術に関する催し及び講座、舞台芸術の講演などの主催事業、やまなし県民文化祭各種公演や県立大学入学式などの貸館事業を実施している。利用者は子どもから高齢者、乳幼児を連れた家族等、幅広い層に及んでいる。

各貸施設の平均稼働率は、50%程度（R3末：大・小ホール 54.7%（大 56.3%、小 53.2%）、リハーサル室 47.7%、会議室 40.2%、練習室平均 32.9%、楽屋平均 57%）で推移しており、公演時において一定の練習室等を確保しておく必要があることを考慮すると有効に活用されていると言える。

なお、平成18年度以降、指定管理者制度を導入し、効率的な運営が図られている。

県内には、県民文化ホールの収容人数を超える施設が幾つかあるが、いずれも、舞台形式が異なり、同様の施設はなく、今後も当施設の規模でなければ招致することができない質の高い公演や、優れた舞台芸術に触れる機会を提供していく必要がある。

## 2) 富士山世界遺産センター

富士山世界遺産センターは、世界文化遺産である富士山の保全や顕著な普遍的価値の理解促進、県民文化の発展への寄与、観光振興に資すること等を目的に、平成10年に改築した富士ビクターセンターが北館となり、平成27年12月に新築した南館と併せて平成28年6月に開館した施設であり、富士山の顕著な普遍的価値の総合的な発信と保全管理の中心的役割を担っている。

当施設の北館では、主に富士山の自然の紹介に関する展示業務や観光情報の提供業務を実施しており、日本政府観光局（JNTO）から認定外国人観光案内所カテゴリ2の指定を受け、外国人観光客等に対する観光案内の役割も併せて担っている。

また、南館では、世界遺産富士山を生み出した自然と人との関わりや、25の構成資産から成る世界遺産富士山の魅力が体感できるような展示を展開するとともに、富士山の御中道や巡礼路に関する調査などを実施し、その成果を年2回の企画展として開催するなど、富士山に関する調査研究業務を実施している。利用者は子どもから高齢者、乳幼児を連れた家族等、幅広い層に及んでいる。

なお、当施設は、開館以来、指定管理者制度を導入する中で効率的な運営が図られている。

今後も富士山の顕著な普遍的価値を発信することの重要性は変わらないことから、引き続き県による施設運営及び事業継続が必要である。

## (4) 人口減少・社会環境変化に伴う利用者需要の動向

### 1) 県民文化ホール

県民文化ホールの需要については、少子化による人口減少等により、利用対象者が減少することから、利用者数に影響する可能性はある。

### 2) 富士山世界遺産センター

富士山世界遺産センターの需要については、少子化等により国内からの利用者数が減少する可能性があるが、人口動向・社会情勢が変化したとしても、富士山は国内有数の観光地で、国内外から多数の来訪者が訪れる場所であること、普遍的価値について変わるものではないことから、利用者需要に大きな変化はないと考える。

一方で、世界規模で見た人口増加や、円安、コロナの収束に伴い、今後日本を訪れる外国人観光客が増加することで、外国人観光客については増加する可能性がある。

また、海外からの外国人観光客が増加することで、施設が提供するサービスの多様化を求められることも十分に考えられる。

## (5) 今後の課題

### 1) 県民文化ホール

開館から 39 年が経過しており、建物や電気設備、空調設備等の老朽化に伴い、安全面・機能面で様々な不具合・故障が発生している。また、楽屋、練習室といった貸室等の汚損や、既存設備の中には、部品の供給が終了している設備もあることから、大規模な改修を計画的に行う必要性が生じている。これらの不具合は、事故が発生してからでは遅く、事故を未然に防ぐためには、日常的にきめ細やかな点検、修繕等を実施し、引き続き施設を維持していく必要がある。

### 2) 富士山世界遺産センター

北館については改築後 24 年が経過しており、既存設備の型式が古く、部品などが製造中止となっており修繕対応できないケースもある。

このような状況下にあっても、富士山の顕著な普遍的価値を発信することの重要性は将来にわたり変わらないことから、適切な維持管理を行いながら引き続き施設を維持していく必要がある。

## 3 今後の施設管理の方針

今後も継続して使用していく必要がある施設については、長寿命化事業（施設の使用年数を法定耐用年数を超えて延伸させる事業）を実施する。

施設の改修にあたり必要がある場合は、ユニバーサルデザイン化事業（バリアフリー法に基づく公共施設等のバリアフリー改修事業等、公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業）を実施する。

また、施設の改修費の総額が 10 億円以上となる場合は、「山梨県 P P P / P F I 導入指針」に基づき、P F I 等の導入を検討する。

各施設の管理の方針は次のとおり。

### (1) 県民文化ホール

地域の文化芸術振興の拠点として優れた芸術に触れる機会をはじめ文化芸術に関する発表の場の提供など、本県の文化芸術の振興に必要な施設であるため、長寿命化事業を実施する。

また、誰もが利用しやすい環境の整備を図るため、ユニバーサルデザイン化事業を実施する。

なお、今後、より一層のニーズの把握に努め、魅力あるイベントの誘致や実施、気軽に参加・発表できる場の提供を行うなど、より多くの幅広い層の県民の利用につなげていく。

## (2) 富士山世界遺産センター

富士山の顕著な普遍的価値を発信することの重要性は今後も変わらないことから、富士山の保全管理の中心を担う施設として存続させていく必要があるため、長寿命化事業を実施する。

## 4 長寿命化に関する方針

長寿命化対象施設のうち次表の建築物について長寿命化事業を実施する。

No.	施設名	長寿命化対象建築物	
1	県民文化ホール	1-01	山梨県県民文化ホール会館
2	富士山世界遺産センター	2-01	富士山世界遺産センター南館
		2-04	富士山世界遺産センター北館

長寿命化事業は、「県公共施設マネジメント実施方針」に基づき、目標使用年数 80 年に向け、計画保全部位・設備について計画的な改修を実施する。

なお、事業の実施に当たっては、「県建築物点検マニュアル」に基づき定期点検を実施し、施設の安全性や劣化度等を十分に考慮し改修箇所の優先順位づけを行う。

また、点検結果及び改修履歴は、公共施設・財産マネジメントシステムに記録し、計画的及び効率的な保全業務に活用する。

<参考> 保管理の考え方（「県公共施設マネジメント実施方針」）

○管理分類ごとの保全方針

分類		考え方	保全方針
計画保全	予防保全	劣化により建築物の構造躯体の寿命に直接影響を与える部位、故障等した場合に施設利用者の安全性や施設の機能維持に重大な影響を与える設備	予防保全の観点から不具合が生じる前に保全を実施する
	監視保全	劣化・故障等により建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持に影響するが、事前の兆候を把握することにより対処可能な部位・設備	診断や点検結果を注視し、機能停止等の発生前に劣化や不具合の兆候に応じて対応する
事後保全		不具合が生じてから対応しても、建築物の寿命、利用者の安全性及び施設の機能維持への影響が少ない部位・設備	劣化の進行や機能停止の発生状況に応じて適宜対処する

○建築部位・設備ごとの管理分類

建築部位・設備			計画保全		事後保全
			予防保全	監視保全	
建築	屋根		○		
	外壁	外壁	○		
		外部天井		○	
	建具	外部建具、自動扉		○	
		その他建具			○
内部	内部仕上等			○	
電気設備	受変電	高圧	○		
	発電・静止形電源	非常用発電、交流無停電電源	○		
		太陽光発電			○
	電力	配管配線等、電線類、制御盤、分電盤、OA盤、蛍光灯他			○
	中央監視	中央監視	○		
通信・情報		LAN、電話、表示、映像、防犯等			○
		自動火災報知		○	
機械設備	空調設備	熱源	○		
		空気調和機、全熱交換器、空気清浄装置、ポンプ、タンク、ダクト、配管		○	
	換気設備、排煙設備、自動制御設備、給排水設備、消火設備、昇降機			○	
	衛生設備				○



## 5 長寿命化実施計画

長寿命化対象建築物ごとの実施計画は次のとおり（詳細は＜別紙＞参照）。

【単位：千円】

施設番号	施設名称	建物コード	建物名称	建築年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982		14,020	189,371	241,819	909,695	43,890	6,903	72,477	
<b>1 集計</b>						<b>14,020</b>	<b>189,371</b>	<b>241,819</b>	<b>909,695</b>	<b>43,890</b>	<b>6,903</b>	<b>72,477</b>	
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015									
		002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	1,863	41,990	66,426						5,702
<b>2 集計</b>					<b>1,863</b>	<b>41,990</b>	<b>66,426</b>						<b>5,702</b>
<b>総計</b>					<b>1,863</b>	<b>56,010</b>	<b>255,797</b>	<b>241,819</b>	<b>909,695</b>	<b>43,890</b>	<b>6,903</b>	<b>72,477</b>	<b>5,702</b>

※ 実施計画の改修費や改修年度は、保全マネジメントシステム（BIMMS）を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

## 6 長寿命化対策の実施効果

長寿命化対策の今後 50 年間の実施効果は次表のとおり。

【単位：百万円】

長寿命化型	事後保全型	長寿命化対策の実施効果
12,039	21,274	△9,235

※長寿命化型：BIMMS による全建築物の費用推計（50 年間）

※事後保全型：総務省費用推計ソフトによる全建築物の費用推計（50 年間）

## 7 ユニバーサルデザイン化実施計画

施設ごとの実施計画は次のとおり。

No.	施設名	対象建築物	整備内容	実施年度	概算額
1	県民文化ホール	1-01 山梨県県民文化ホール会館	洋式トイレの整備	R4 工事	9,000 千円

※ 実施計画の整備費及び実施年度は、概算または予定であり、変更となる可能性がある。

長寿命化実施計画（詳細）

施設番号	施設名称	建物コード	建物名称	建築年	区分	種別	分類	目標使用年数	更新履歴	次回更新年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計(千円)
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2062										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 屋根	屋根防水+押えコン	予防保全	30		2022		140	4,296	5,193						9,629
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 屋根	シート系防水	予防保全	20	H20	2022		838	25,777	31,158						57,772
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 屋根	屋根長尺金属板	予防保全	30	H20	2022		419	12,888	15,579						28,886
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 外部	壁-タイル	予防保全	80		2022		1,159	61,841	74,754						137,754
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2022		497	26,503	32,037						59,037
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2029										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	建築 建具	自動扉	監視保全	80		2062										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	電気 受変電	高圧	予防保全	30		2023			3,686		524,248					527,934
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	電気 発電・静止形電源	非常用発電	予防保全	30	H22	2022		5,208	54,380	83,098						142,686
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	電気 発電・静止形電源	交流無停電電源	予防保全	20	H16	2029										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	電気 中央監視	中央監視	予防保全	15		2026							6,903	72,477		79,380
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	電気 通信・情報(防災)	自動火災報知	監視保全	20	H24	2029										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 空調設備	冷熱源	予防保全	20	H20	2023		4,048			54,342					58,390
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 空調設備	空気調和器等	監視保全	20		2023		1,274			156,915					158,189
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 換気設備	換気機器;送風機	監視保全	30		2023		192			24,746					24,938
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 自動制御設備	自動制御	監視保全	15		2023		36			74,236					74,272
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 給排水設備	給排水(ポンプ、タンク、配管等)	監視保全	30	H22	2023		210			75,208					75,418
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 消火設備	消火設備一式	監視保全	30		2029										0
1	県民文化ホール	001-01	山梨県県民文化ホール会館	1982	機械 昇降機その他	エレベーター	監視保全	30	H22	2024						43,890				43,890
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2095										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 屋根	屋根長尺金属板	予防保全	30		2045										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 外部	壁-タイル	予防保全	80		2095										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2030										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2055										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	建築 建具	自動扉	監視保全	80		2095										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	電気 通信・情報(防災)	自動火災報知	監視保全	20		2035										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 空調設備	温熱源	予防保全	15		2030										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 空調設備	空気調和器等	監視保全	20		2035										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 換気設備	換気機器;送風機	監視保全	30		2045										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 自動制御設備	自動制御	監視保全	15		2030										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 給排水設備	給排水(ポンプ、タンク、配管等)	監視保全	30		2045										0
2	富士山世界遺産センター	002-01	富士山世界遺産センター南館	2015	機械 昇降機その他	エレベーター	監視保全	30		2045										0

施設番号	施設名称	建物コード	建物名称	建築年	区分	種別	分類	目標使用年数	更新履歴	次回更新年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	計(千円)	
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 構造	構造躯体	予防保全	80		2078										0	
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 屋根	シート系防水	予防保全	20		2021		4,403	8,455								12,859
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 屋根	屋根長尺金属板	予防保全	30		2021		17,614	33,822								51,436
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 外部	壁-タイル	予防保全	80		2021	76	2,228	4,830								7,134
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 外部	外壁仕上塗材	予防保全	15		2021	267	7,798	16,904								24,969
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 外部	外壁金属板その他	予防保全	40		2021	38	1,114	2,415								3,567
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 建具	外部建具	監視保全	40		2038											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	建築 建具	自動扉	監視保全	80		2078											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	電気 受変電	高圧	予防保全	30		2028										885	885
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	電気 通信・情報(防災)	自動火災報知	監視保全	20		2029											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 空調設備	温熱源	予防保全	15		2029											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 空調設備	冷熱源	予防保全	20		2029											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 空調設備	空気調和器等	監視保全	20		2020	1,481	8,833									10,314
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 換気設備	換気機器;送風機	監視保全	30		2028										781	781
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 自動制御設備	自動制御	監視保全	15		2029											0
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 給排水設備	給排水(ポンプ、タンク、配管等)	監視保全	30		2028										1,425	1,425
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 消火設備	消火設備一式	監視保全	30		2028										230	230
2	富士山世界遺産センター	002-04	富士山世界遺産センター北館	1998	機械 昇降機その他	エレベーター	監視保全	30		2028										2,381	2,381

			長寿命化対象2棟			長寿命化対象	予防保全				382	45,465	255,797	241,819	578,590	0	6,903	72,477	885	1,202,318
							監視保全				1,481	10,545	0	0	331,105	43,890	0	0	4,817	391,838
						長寿命化対象施設計					1,863	56,010	255,797	241,819	909,695	43,890	6,903	72,477	5,702	1,594,155

※ 実施計画の改修費や改修年度は、BIMMS を活用して算出したものであり、定期点検結果や県施設全体の優先順位付けの検討結果により変更となる可能性がある。

施設の建築物等所有状況一覧 (R4.3.31 現在)

長寿命 対象	法定 点検	施設 番号	施設 名称	所 在 地	建 物 番 号	建 物 名 称	建 物 種 目	建 築 面 積 ( ㎡ )	延 床 面 積 ( ㎡ )	建 物 構 造	( 地 上 ) 階 数	( 地 下 ) 階 数	新 築 日 付	築 年 数	実 耐 震 診 断 状 況	耐 震 補 強 状 況	所 管 課
○	○	1	県民文化ホール	甲府市寿町26-1	1	山梨県県民文化ホール会館	事務所建	9,259.46	20,018.95	SRC	4	1	1982/11/15	39	不要	不要	観光文化部文化振興・文化財課
		1	県民文化ホール	甲府市寿町26-1	3	山梨県県民文化ホール自転車置場	雑屋建	49.20	49.20	鉄骨造	1	0	1982/11/15	39	不要	不要	観光文化部文化振興・文化財課
		1	県民文化ホール	甲府市寿町26-1	4	山梨県県民文化ホール駐車場管理ブース	雑屋建	4.77	4.77	鉄骨造	1	0	1982/12/1	39	不要	不要	観光文化部文化振興・文化財課
		1	県民文化ホール	甲府市寿町26-1	5	車庫	雑屋建	28.39	28.39	鉄骨造	1	0	2002/1/9	20	不要	不要	観光文化部文化振興・文化財課
		1	県民文化ホール	甲府市寿町26-1	6	ゴミ置き場	雑屋建	16.20	16.20	鉄骨造	1	0	2002/1/9	20	不要	不要	観光文化部文化振興・文化財課
○	○	2	富士山世界遺産センター	南都留郡富士河口湖町船津剣丸尾6663-1	1	富士山世界遺産センター南館	事務所建	1,413.28	1,581.28	RC	2	0	2015/12/15	6	不要	不要	観光文化部世界遺産富士山課
		2	富士山世界遺産センター	南都留郡富士河口湖町船津剣丸尾6663-1	2	富士山世界遺産センター倉庫	事務所建	161.98	161.98	RC	1	0	1963/8/9	58	不要	不要	観光文化部世界遺産富士山課
○	○	2	富士山世界遺産センター	南都留郡富士河口湖町船津剣丸尾6663-1	4	富士山世界遺産センター北館	事務所建	1,304.72	1,670.72	RC	2	0	1998/6/15	23	不要	不要	観光文化部世界遺産富士山課